

第16期 第4回常任理事会議事録

日 時 昭和45年11月9日(月) 15時～18時

場 所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 山本, 大田, 関口, 関原, 北川, 大井, 川村, 藤原, 神山, 駒林, 伊藤, 小平, 各常任理事

列席者 窪田長期計画委員長, 中村, 鈴木庶務委員

報 告

〔庶務〕

1. 10月15日東京大学海洋研究所長から昭和46年度同所を利用する研究会開催と、外来研究員の公募がきた。申込期限12月10日。

2. 10月15日東京大学海洋研究所長から昭和46年度研究船、淡青丸、白鳳丸の共同利用申込みの募集がきた。申込期限12月10日。

3. 11月5日(財)藤原科学財団理事長から第12回藤原賞受賞候補者推薦依頼がきた。

〆 切 昭和46年2月28日

〔会計〕10月分会計報告

なお夏期大学(第2回(昭43), 第3回(昭44))の収支報告があった。(結論)在庫部数350部を売るよう努力する。

〔学会賞〕朝日賞候補者に山本義一氏を推薦した。

〔長期計画〕さきの大会のシンポジウムの結果について先週に引続き近日中に委員会を開きまとめを行なう予定。

〔正野記念論文集〕仮の論文名を問い合わせ、24名から執筆の回答あり、6～7名保留中で、予定通り進んでいる。

〔講演企画〕講演数の増加傾向を想定し、今後の大会運

営のあり方(3会場4日間案など)について、11月10日委員会を開き協議する。

議 題

1. 日本学術会議会員の選挙について

選挙管理委員会で候補者指名の選挙を行ない、上位2名を全国区に推薦する。1位を地球物理専門別候補者に、2位を専門にかかわらない候補者とする。

地方区については支部推薦の申し出があれば、学会として推薦をする。細部は選挙管理委員会に一任する。

2. 昭和46年度春季秋季大会について

春期大会の当番は東京大学であるので、期日その他岸保理事と連絡して決める。秋期大会は3日間とし、10月5日(火)、6日(水)、7日(木)とする。

大会費や支部交付金については、賛助会員の収入状況を考慮し会計理事が地方の意見を聞いて、予算編成の時期までに予算案を作る。

3. 評議員会の開催と諮問事項について

評議員会は例年どおり12月下旬頃に開催する。諮問事項としては学会気象庁、大学の間で、気象学、気象技術の発展に関し、意見意志のそ通を計る具体的方策について諮問する。

4. そ の 他

1) 集誌のページチャージについて今後とも検討を進める。(集誌編集理事担当)

2) 学術会議のあり方委員会で各学会の意見を求めているので長期計画委員会より意見をまとめること。

〔承認事項〕通常会員山村恒久以下14名の入会を承認する。